

TOSHIBA

東芝電気温水器（家庭用） 取扱説明書

ステンレスホット

TFシリーズ

時間帯別電灯/深夜電力（通電制御）切替式

形
名

1 ヒータータイプ（屋内・軒下兼用形）

HPL-TF159MA ・ HPL-TF159MA-T

HPL-TF209MA ・ HPL-TF209MA-T

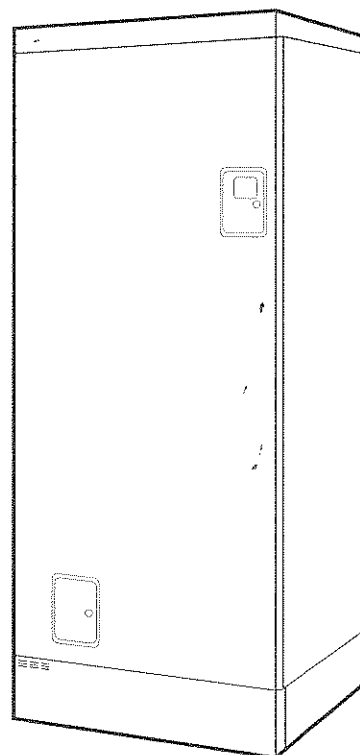
1 ヒータータイプ（屋内・防雨兼用形）

HPL-TF372RMA ・ HPL-TF462RMA

2 ヒータータイプ（屋内・防雨兼用形）

HPL-2TF372RMA

HPL-2TF462RMA



※ご使用の前にお買いあげいただきました温水器の形名をおたしかめください。

* このたびは東芝電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

* この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。

* お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

* 販売店または、工事店から取扱説明書・保証書・工事説明書・据付作業確認書を必ず受け取って大切に保管してください。

* お客さまご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

割引き料金の適用について

この電気温水器は、通電制御による特別割引き料金の適用を受けられます。

適用に当っては、最寄りの電力会社に申請してください。なお、適用機種にはそれぞれ、右記のシールが貼り付けてあります。

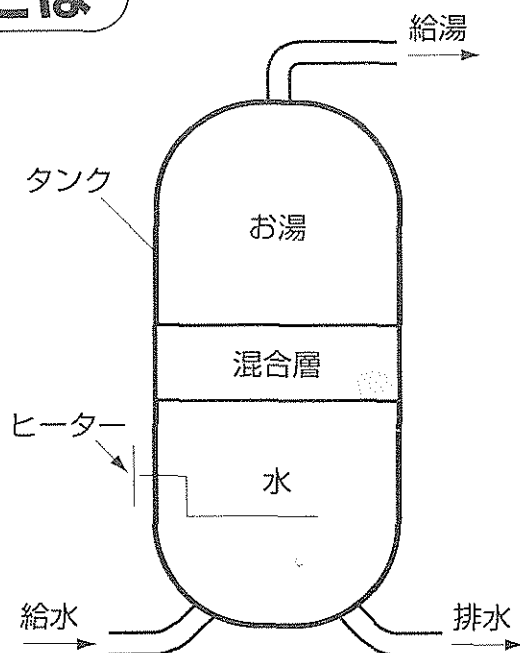
もくじ

知っておいてください	1
安全上のご注意	2
各部のなまえとはたらき	6
使いかた	7
点検、お手入れのしかた	13
リモコンについて	16
異常の表示と処理の方法	16
このようなときには	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19



知っておいてください

電気温水器とは



- タンクにためた水を深夜電力を使いゆっくり温めます。
- お湯を使うとタンクの下から水が入ってきて、上からお湯を出します。
- お湯は水より軽いので、タンク内ではお湯と水が混ざることなくわかれれます。
- この原理により、お湯は冷めることなく、お使いいただけます。

■電力制度について

この電気温水器をご使用いただくことにより、下記電気料金の特別割引料金の適用を受けられます。

ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。

ご契約については、最寄りの電力会社へお問い合わせください。

1. 時間帯別電灯契約

- ・ご家庭の電化製品すべてに対して夜間時間帯（23：00～7：00）は通常の1/3以下の割引料金が適用されます。昼間時間帯（7：00～23：00）は通常の10～30%程度の割増料金が適用されます。
- ・昼間時間帯も通電できますので、電気温水器の「沸増し」がご使用できます。
- ・共働きで昼間は家に居ない方や、夜間時間帯に洗濯や炊飯などを予約設定している方などにおすすめします。

2. 深夜電力契約



- ・電気温水器のみ夜間時間帯（23：00～7：00）は通常の1/3以下の割引料金が適用されます。電気温水器以外の電化製品は通常の料金が適用されます。
- ・昼間時間帯は通電できませんので、電気温水器の「沸増し」はご使用できません。

※電力制度、時間帯、割引（割増）料金については、各電力会社によって異なりますので、最寄りの電力会社へお問い合わせください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明




表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	○は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 据付前の注意事項

警告

据付・配管・電気工事は、必ずお買いあげの販売店または工事店に依頼する
ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。



アース棒など、別売り部品も東芝品を使用する
純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。



業務用・改造後の使用はしない
業務用に使用しないでください
事故・故障の原因となります。安全点検を行ってください。



注意

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する
適合しない水で使うと故障・水漏れの原因になります。



安全上のご注意 (つづき)

■ 据付後の確認事項

⚠ 警告

アース工事がされているか確認する

故障や漏電のときに感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



アース工事

機器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認する

発火の原因になります。



施工確認

⚠ 注意

床面が防水処理・排水処理されているか確認する

水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。



施工確認

脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する

地震などが発生した場合、本体が倒れてけがをすることがあります。



施工確認

凍結防止対策を確認する

配管が破損してやけどをすることがあります。



施工確認

機器・リモコンが浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認する

火災・感電の原因になります



施工確認

リモコンが、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取付けられていないことを確認する

変色、変形、火災の原因になります。



施工確認

■ 使用上の注意事項

⚠ 警告

機器の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



禁止

前面カバーは開けない

感電の原因になります。



禁止

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意する

給湯せんを開いた直後は水が出ますがすぐに熱湯に変わります。

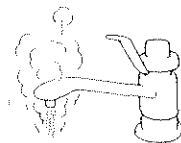
シャワーを使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。いきなり頭や体にかけて湯温を十分確認してから行ってください。



手をふれない

警告**給湯時は給湯せん本体に手を触れない**

やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。



手をふれない

注意**そのまま飲用しない**

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



沸騰後飲用

電源ボックスカバーは閉じておく

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



確実に閉じる

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない

本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意してください。



禁止

■点検・お手入れの注意事項**警告****漏電遮断器の動作を確認する**

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。



動作点検

逃し弁の点検時には逃し弁排水管に手を触れない

やけどをすることがあります。



手をふれない

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

逃し弁を点検する

点検しないとタンクや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



動作点検

タンクの熱湯は直接排水しない

やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。
または湯はり等を行ってお湯を使いきってから排水してください。



熱湯排水禁止

1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をする
水質が変化することがあります。



水抜き

水漏れを点検する

とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常点検してください。



漏水点検

■ 修理・譲渡等の注意事項

⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止

⚠ 注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる
方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の
目立つところにテープ止めする



説明書添付

■ 異常時の注意事項

⚠ 警告

異常時(こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れ等)は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を
「切」にして、お買いあげの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談センターへ連絡
する



電源を切る

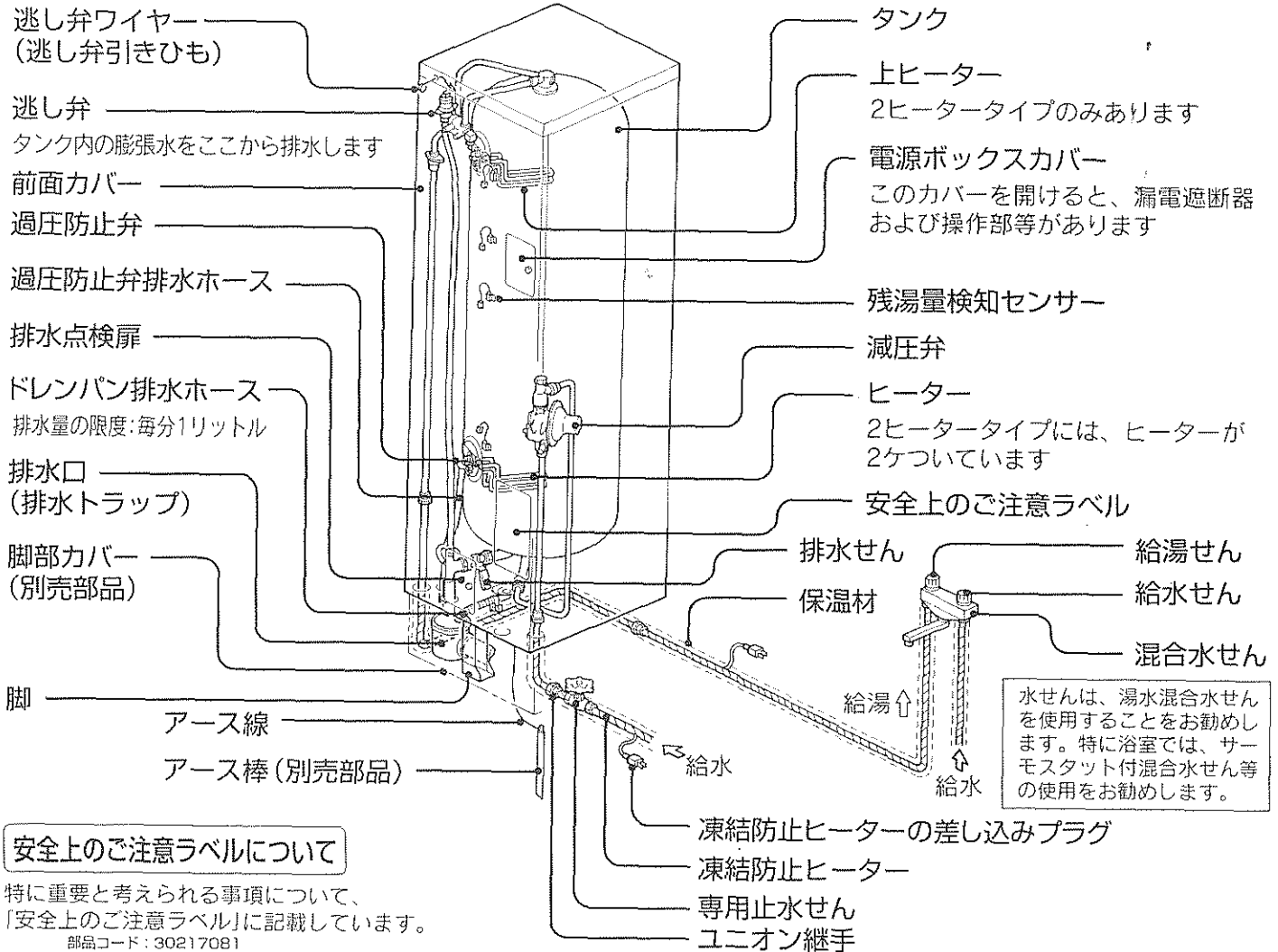
異常のまま使用されますと、故障や感電・火災の原因になります。

各部のなまえとはたらき

- * 電気温水器は深夜の間にお湯を沸かし、タンクに貯めておいて必要なときに利用するものです。
- * アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃すため、電気温水器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子をアース線で接続することにより構成されます。
- * 電気温水器本体に「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

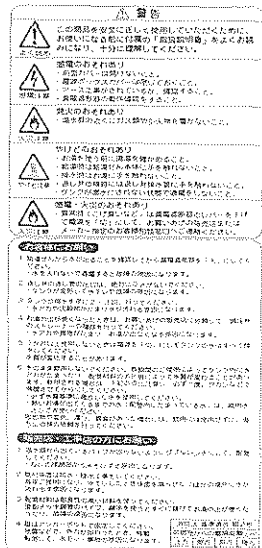
※減圧弁・逃し弁は消耗部品です。
定期的な交換が必要です。交換時期は水質によ
って異なりますので販売店にご相談ください。

- 別売部品および現場施工部品を組込んだイラストになっています。
- 機種により外観は一部異なります。



安全上のご注意ラベルについて

特に重要と考えられる事項について、
「安全上のご注意ラベル」に記載しています。
部品コード: 30217081



お願い

本体のラベルが剥が
れてなくなったり、
文字が消えて読めな
くなった場合には、
ラベルを販売店から、
部品コードを指定し
て購入し、元の位置
に貼ってください。

電源ボックスカバー内部

※時計表示部
深夜電力契約での使用の
際は時計表示しません。

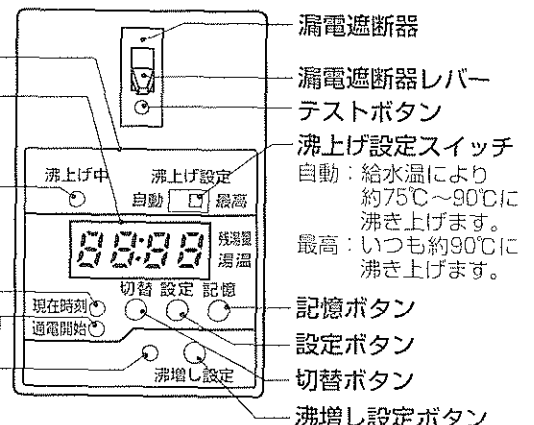
操作部
※時計表示部
説明のため全表示にな
っています。

沸上げ中の表示

現在時刻の表示

通電開始時刻の表示

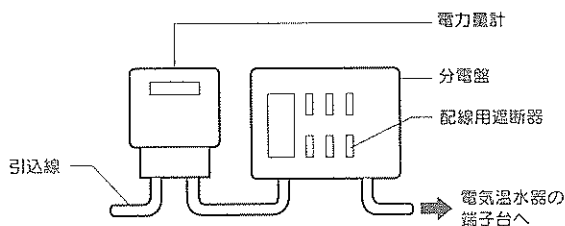
沸増し設定の表示



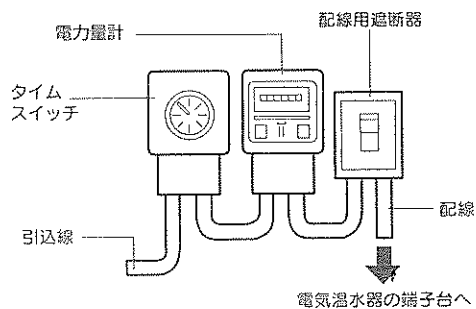
各部のなまえとはたらき (つづき)

標準引込み配線

●時間帯別電灯契約のとき



●深夜電力契約のとき



この取扱説明書ではつぎのように表わします。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ●操作手順は……………1 2 3 | ●点灯は…………… |
| ●操作により変わる状態は……………▶ | ●点滅は…………… |

使いかた

⚠ 警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



禁止

タンクが満水になっていることを確認してから通電する

- ・満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因になります。
- ・水を入れないで通電するとヒーターの故障の原因となります。



満水確認

⚠ 注意

そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



沸騰後飲用

給水のしかた

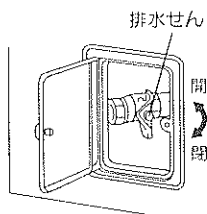
最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、給水したら一度、全部排水し再び給水してください。

1 最初の給水のしかた

- (1) 給湯せん②、専用止水せん③を開きます。
約10～40分で給湯せん②から水が出てきます。
これでタンクは満水になります。

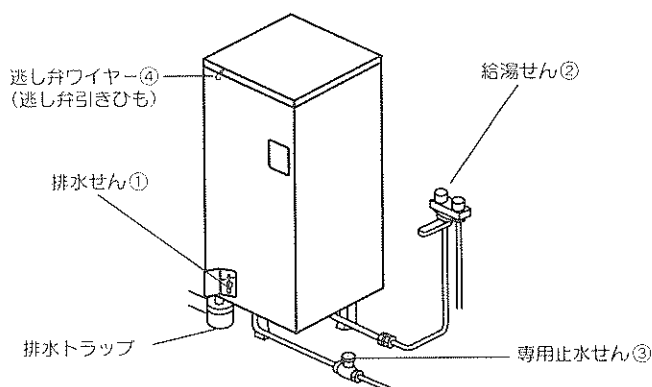
2 排水のしかた

- (1) 専用止水せん③を閉じます。
- (2) 給湯せん②を開きます。
- (3) 排水せん①を開きます。
- (4) 約20～40分で水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁ワイヤー④をひいて逃し弁を開いてください)



3 再給水のしかた

- (1) 排水せん①を閉じます。
- (2) 専用止水せん③を開きます。
- (3) 給湯せん②から水が出てきたら給湯せん②を閉じます。

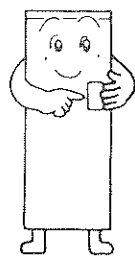


通電のしかた

⚠ 注意

電源ボックスカバーは閉じておく

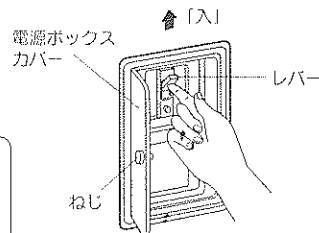
ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作のあとには必ずねじを締めてください。



確実に閉じる

通電は必ず給水をしてから行ってください。

- (1) 電源ボックスカバーのねじをゆるめカバーをあけます。
- (2) 漏電遮断器のレバーを「入」にしてください。
- (3) 時間帯別電灯契約でお使いのときは、現在時刻を合わせます。(8ページ) 深夜電力契約でお使いのときは、設定の必要はありません。(時計は表示しません)
- (4) 湯温調節をします。(9ページ)
- (5) 操作終了後、電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実に締めてください。



夜間の通電時間帯になると沸き上げが始まり、逃し弁から膨張水が排水されます。(タンク容量150Lのもので約4.5L、200Lのもので約6L、370Lのもので約11L、460Lのもので約14L排水されます。) ただし、昼間でも沸騰中は膨張水が排水されます。

現在時刻の合わせかた

(時間帯別電灯契約でお使いになるとき)

- 深夜電力契約として使用している場合には、現在時刻を合わせる必要がありません。(時計は表示しません)
- 現在時刻を設定していないとお湯を沸かすことができません。必ず現在時刻の設定をしてください。
- 誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせて下さい。
- ときどき現在時刻表示を確かめてください。時刻のズレがあると電気料金が割高になることがあります。
- 給湯せんより水が出ることを確認してから行ってください。(給水のしかた7ページをご覧ください)

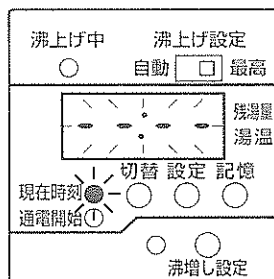
つぎの手順にしたがって現在時刻を合わせてください。

例) ここでは15時45分に合わせることで説明します。

時刻が行き過ぎたら「沸増し設定」ボタンを押すと1つつ戻ります

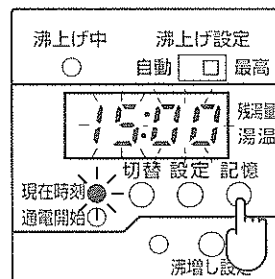
1 漏電遮断器のレバーを「入」にする

- ▶ パー表示が点灯および現在時刻の表示が点灯します。



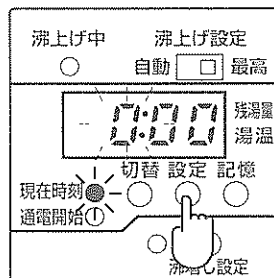
4 「記憶」ボタンを押し、15時を記憶させる

- ▶ 15を点灯し分の位の00が点滅します。



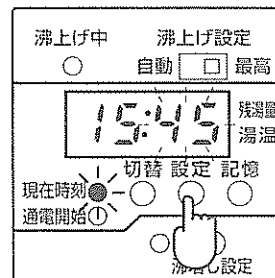
2 「設定」ボタンを約3秒間押し続けて離す

- ▶ 時計表示部の0が点滅します。
- ※点滅してから約30秒間何も操作しないと設定が解除され現在時刻表示に戻ります。



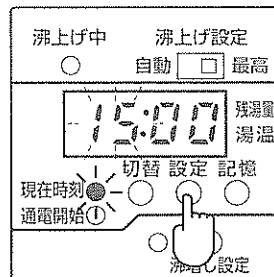
5 「設定」ボタンを押し、45分に合わせる

- 連続でボタンを押し続けると数字は1つつ進みます。
- ▶ 分の位が45になったところで指を離すと45が点滅します。



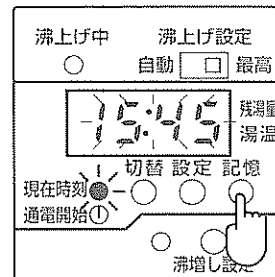
3 「設定」ボタンを押し、15時に合わせる

- 連続でボタンを押し続けると数字は自動的に進みます。
- ▶ 15が点灯したところで指を離すと15が点滅します。



6 「記憶」ボタンを押し、45分を記憶させる

- ▶ 15:45の表示が全部点灯になり、時計が動きはじめます。



現在時刻を合わせなおすときは2～6により行ってください。

使
い
か
た

使いかた (つづき)

沸き上げ湯温調節のしかた

●沸き上げ設定スイッチを切り替えて、沸き上げる湯温を2段階に選べます

ご家庭の使用量によって切り替えてください。工場出荷時は「最高」にセットしてあります。

湯温のめやす

「自動」……約75～90℃（給水温を検知し、夏期は低く冬期は高く沸き上げます）

「最高」……約90℃

※給水温が15℃未満のとき、約90℃まで沸き上がりません。

※タンク内にお湯が残っている場合は、量によりますが、水温が低いときでも約90℃に沸き上げます。

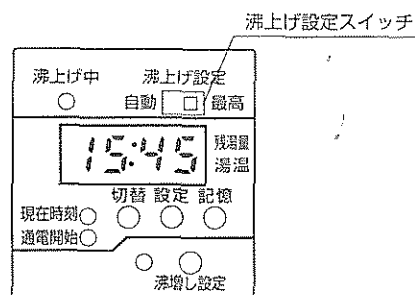
※沸き上げ中に停電があったときは、設定より低い温度に沸き上がります。

●スイッチの切り替え

電源ボックスカバー内の沸き上げ設定スイッチを「自動」または「最高」に切り替えてください。

※スイッチの切り替えはいつでも行えますが、夜間の通電時間帯に「自動」から「最高」に切り替えたときは、約90℃まで沸き上がらないことがあります。

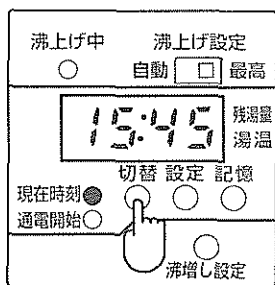
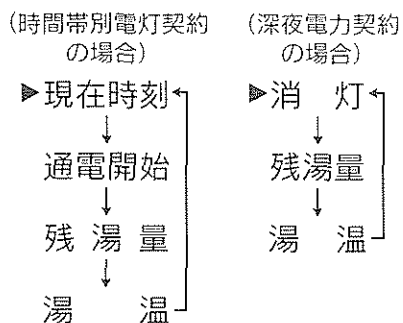
※試運転のときは、必ず「最高」の位置で行ってください。



表示切り替えのしかた

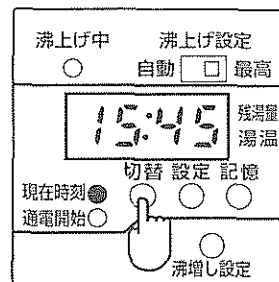
- 時計表示部は「現在時刻」「通電開始」「残湯量」「湯温」を切り替えて表示することができます。
- 深夜電力契約で使用している場合には、夜間時間帯のみ「残湯量」「湯温」を切り替えて表示することができます。（夜間時間帯以外は表示しません）
- 切替** ボタンを押すことにより表示を切り替えられます。

切替 ボタンを押す 1回押すごとに表示の内容が切り替わります。



現在時刻 時計表示をします

設定のしかたは8ページの「現在時刻の合わせかた」により行ってください。



残 湯 量

タンク内の残湯量を表示します

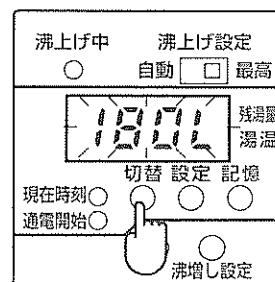
表示と表示に対する残湯量はつぎのとおりです。

HPL-TF159MA(-T)
HPL-TF209MA(-T)の場合

表 示	残 湯 量
100L	100L以上あるとき
50L	50L以上100L未満のとき
0L	50L未満のとき

その他の機種の場合

表 示	残 湯 量
180L	180L以上あるとき
120L	120L以上180L未満のとき
60L	60L以上120L未満のとき
0L	60L未満のとき



- 時間帯別電灯契約でお使いの場合、残湯量表示後そのまま放置すると約10秒後に現在時刻表示になります。
 - 深夜電力契約でお使いの場合は、夜間時間帯にのみ継続して表示します。
- 表示を消す場合には、**切替** ボタンを2回押してください。

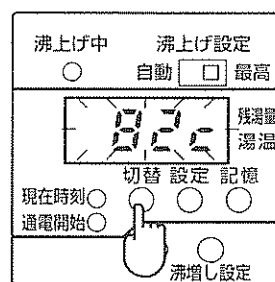
湯 温

タンク内の湯温を表示します (給湯せんからの湯温ではありません)

タンク内湯温のめやすを表示します

表示と表示に対する湯温の例はつぎのとおりです。

表示の例	湯 温
82℃	82℃
60℃	60℃



- 時間帯別電灯契約でお使いの場合、湯温表示後そのまま放置すると約10秒後に現在時刻表示になります。
 - 深夜電力契約でお使いの場合は、夜間時間帯にのみ継続して表示します。
- 表示を消す場合には、**切替** ボタンを押してください。

通 電 開 始

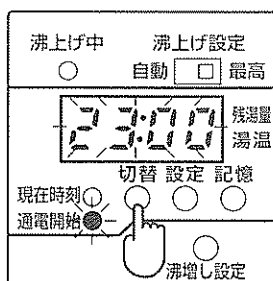
夜間電力の通電開始時刻を表示します (時間帯別電灯契約でお使いのとき)

工場出荷時は23時にセットしてありますが、電力会社によって異なることがありますので、最寄りの電力会社に確認してつぎの手順にしたがって合わせてください。
誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがあります。

例) ここでは1時に合わせることで説明します。

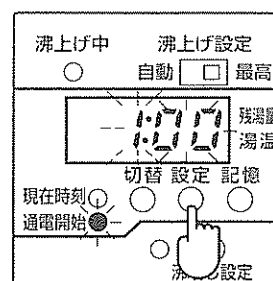
1 **切 替** ボタンを押し、 通電開始の表示にする

- ▶ 通電開始の表示と23:00が点灯します。



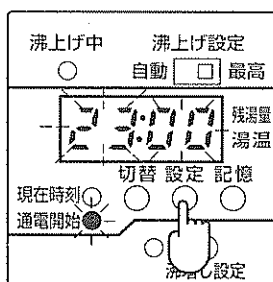
3 **設 定** ボタンを押す

- ▶ 1回押すごとに
23:00 → 0:00 →
1:00 → 2:00 →
2:00と変わりますので
1:00を点滅表示させます。



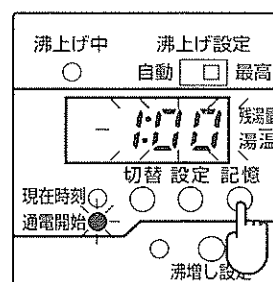
2 **設 定** ボタンを約3秒 間押して離す

- ▶ 時計表示部が点滅します。
- ※点滅してから約30秒間何も操作をしないと設定が解除され現在時刻表示に戻ります。



4 **記 憶** ボタンを押す

- ▶ 点滅の1:00が点灯となります。これで通電開始時間が午前1時に設定されました。そのまま放置すると約10秒後に現在時刻表示になります。



通電開始時間を合わせなおすときは1～4により行ってください。

使
い
か
た

使いかた (つづき)

沸増し設定のしかた

(時間帯別電灯契約でお使いになるとき)

- 毎日湯切れの心配をしないで、たっぷりとお湯を使いたい。こんなときは、沸増し設定により昼間お湯を沸かして使用することができます。
- 残湯量の表示をめやすに「沸増し設定」を行なってください。
- 沸増し設定による沸き上がり温度は「沸上げ設定スイッチ」で設定した温度で沸き上げます。
- 沸増しをするとお湯をたっぷり使えますが、昼間電力を使いますので電気料金は割高になります。
- 現在時刻が設定されていないと沸増し設定できません。
- 深夜電力契約で使用している場合には、沸増し設定できません。

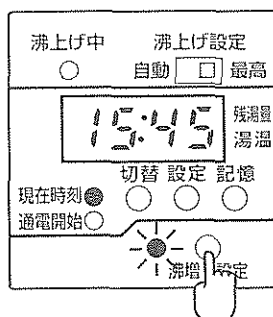
- 沸増しは一度設定すると解除操作するまで解除されません。
- 電気料金節約のため17時以降23時までは沸増ししないようになっています。沸増しが必要な場合には、一度沸増しを解除したあと、再度設定してください。当日(その日)のみ17時から23時までの間でも沸増しします。

設定および解除はつぎの手順で行ってください。(15時45分に設定または解除した場合で説明します)

1 設定

沸増し設定 ボタンを押す。

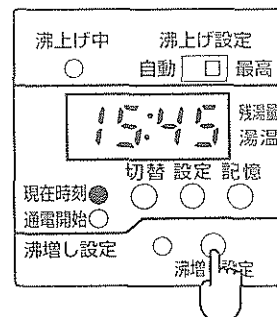
- ▶ 沸増し設定の表示が点灯し沸増しが設定されます。沸増しの条件を満たすと、沸上げ中の表示が点灯し、設定された温度まで沸増しされます。



2 解除

沸増し設定 ボタンを押す。

- ▶ 沸増し設定の表示が消え沸増しが解除されます。沸上げ中の表示が点灯している場合には、同時に消灯し、沸増しを解除します。



こんなとき		毎日湯切れの心配をしないでたっぷりとお湯を使いたい		
項目	機種	1ヒータータイプ	2ヒータータイプ	
沸増しのしかた				
沸増しの条件		7時から17時の間でお湯を約60L使用すると何回でも沸き増しを行う	7時から17時の間でお湯を約60L使用すると何回でも沸き増しを行う	17時から夜間電力通電開始時刻の間で残湯量が約60L未満になると何回でも沸き増しを行う。
解除の方法		「沸増し」ボタンを押して沸き増しの表示を消灯させる		
備考		夜の間に沸き上がらなかったときに継続して約2時間余分に沸き上げを継続する。	夜の間に沸き上がらなかったときに継続して約2時間余分に沸き上げを継続する。	予約解除しないかぎり毎日沸き増し

非常用水の取りかた

HPL-TF372RMA・HPL-2TF372RMA
HPL-TF462RMA・HPL-2TF462RMA のとき

- 非常用取水コックは、万一の災害による断水時にタンクのお湯（水）を生活用水として利用できるようにしたものです。
- 非常時以外の使用はしないでください。

警告

非常用水は、熱湯がでるおそれがあります。やけどに注意する

最初は水がでてきますが、熱湯がでてくる場合があります。



手をふれない

非常用水の採水時はバルブ本体に手を触れない

本体が熱くなり、やけどをすることがあります。



手をふれない

注意

飲用しない

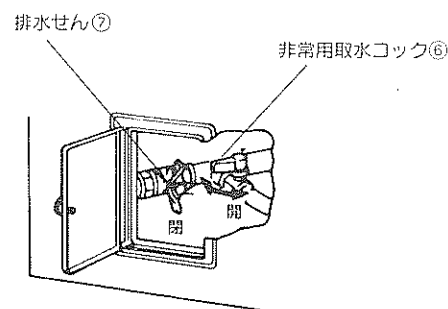
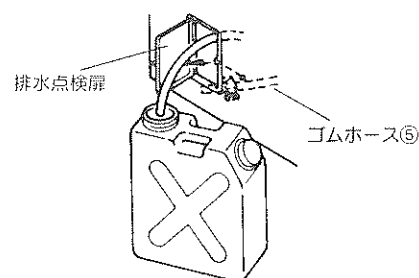
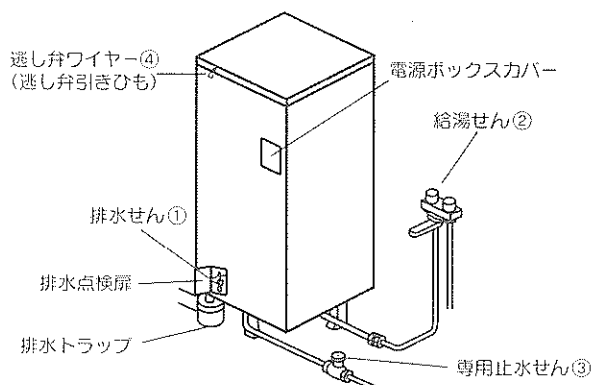
水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。



飲用禁止

1. 非常用水の取りかた

- (1) 電源ボックスカバーを開き漏電遮断器を「切」にします。
- (2) 専用止水せん③を閉じます。
- (3) 排水点検扉を開き、内部のゴムホース⑤を引き出しポリタンク等に導きます。
- (4) 非常用取水コック⑥を「開」にします。(排水せん⑦は開けないでください。)
- (5) 逃し弁ワイヤー（逃し弁引きひも）④を引きます。
- (6) 必要量の非常用水が取れたら逃し弁ワイヤー（逃し弁引きひも）④を離し、非常用取水コック⑥を「閉」にします。
- (7) ゴムホース⑤を元に戻し、先ほど開いた扉をすべて閉じます。



コックを開いてすぐは汚れた水が出ますのできれいになってからご使用ください。

2. 通常運転への戻しかた

- (1) 専用止水せん③を開きます。
- (2) 給湯せん②を開き、3分以上連続して給湯せん②から水が出るようになったら閉めます。
(給湯せんから水が出て、配管内に空気がたまっている場合がありますので、必ず連続して水が出るようになるまで給水をしてください。)
- (3) 漏電遮断器を「入」にします。

使いかた

使用上の注意

⚠ 警告

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意する

給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。



手をふれない

給湯時は給湯せん本体に手を触れない

やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。



手をふれない

お湯の上手な使いかた

一日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

●お湯は容器に受けて使ってください。

流し洗いは、お湯不足の原因になります。

●お風呂に給湯するときは

お湯をあふれさせないようにしてください。

●お風呂の差し湯は

お湯の量が多いときは、あふれないように、お湯を少し減らしてから足します。

●来客があるときは

前日に「沸上げ設定」スイッチを「最高」に切り替えておきます。（「自動」のとき）

●入浴時間は

夜間の通電時間前にすませるようにしてください。通電時間中にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します。

●お風呂のふたは

浴槽には冷めやすいものもあります。入浴後はふたをしてください。

点検、お手入れのしかた

事故を防止するために下記の点検を必ず行ってください

⚠ 注意

逃し弁を点検する

配管漏れによるやけどをすることがあります。



動作点検

電源ボックスカバーは閉じておく

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



確実に閉じる

点 検

1 漏電遮断器の動作確認を

⚠ 警告

漏電遮断器の動作を確認する

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

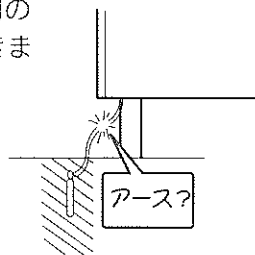
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

点検、お手入れのしかた (つづき)

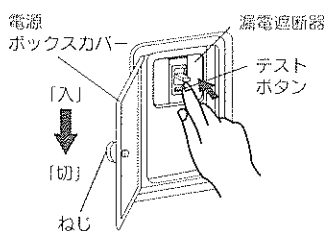
- 年に2～3回は、漏電遮断器の動作確認を夜間の通電時間内に、つぎのように確認してください。

※時間帯別電灯契約でご使用の場合は、いつでも確認できます。

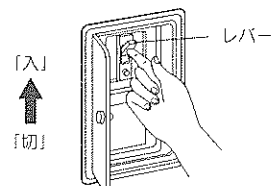
- (1)アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。



- (2)電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。漏電遮断器のレバーが「切(OFF)」になれば正常です。



- (3)テストのあとは、必ずレバーを「入(ON)」にもどし、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじを締めてください。



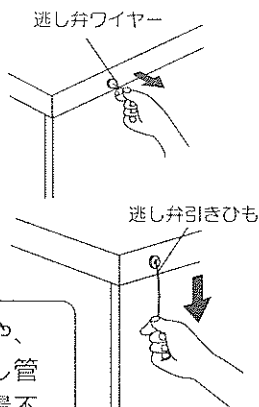
2 逃し弁の動作確認を

警告

逃し弁点検時は、排水管に手を触れないやけどをすることがあります。

年に2～3回は、逃し弁ワイヤー（逃し弁引きひも）を2～3回引いて動作確認をしてください。

- ワイヤー（引きひも）を引いたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。（排水が確認できないときは水の音で排水されたことを確認してください）



- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

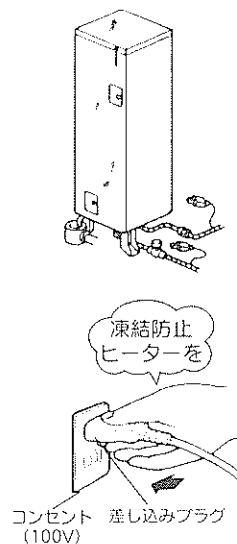
3 寒冷地では凍結防止を

注意

凍結防止対策を確認する

配管が破損してやけどをすることがあります。

- 気温がマイナス10℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書に従い、配管工事をしてください。
- 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



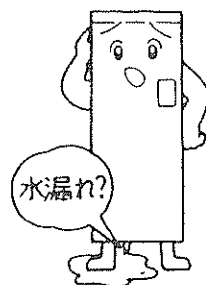
4 水漏れの点検を

注意

水漏れを点検

特に集合住宅では、水漏れが階下へ被害を与えます。日常確認してください。

- 電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認してください。
- 減圧弁・逃し弁は消耗部品です。定期的に交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にお尋ねください。



お手入れのしかた

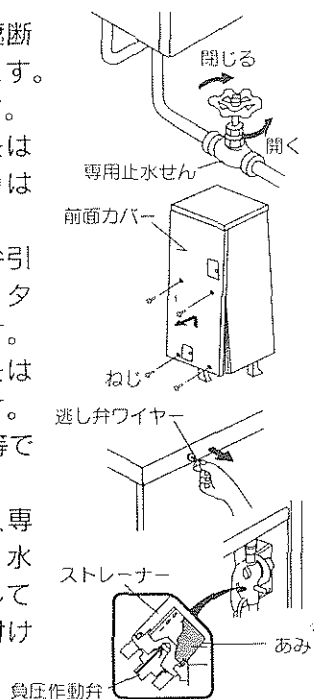
1 減圧弁のストレーナー掃除

- 販売店に依頼して掃除を行ってください。

湯および水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。ストレーナーの掃除を行うときは次の手順に従って行って下さい。

点検、お手入れのしかた (つづき)

- (1) 電気温水器用の配線用遮断器を「切」(OFF)にします。
- (2) 専用止水せんを閉じます。
- (3) 前面カバーのねじ4本をはずし、前面カバーを取りはずします。
- (4) 逃し弁ワイヤー(逃し弁引きひも)を約1分間引き、タンク内の圧力を抜きます。
- (5) 減圧弁のストレーナーをはずし、あみを掃除します。(水を流しながらブラシ等で良く洗います)
- (6) ストレーナーを組み付け、専用止水せんを開きます。水漏れがないことを確認してから前面カバーを取り付けてください。



2 お使いにならないとき

- 長期間お使いにならないとき

⚠ 注意

1か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をする
水質が変化することがあります。

- 「排水のしかた」は7ページをご覧ください。
- 再びご使用になるときは、7ページの再給水のしかたによりタンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。
- 翌日、ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気がでますので、やけどに注意してください。

3 タンク内の掃除を

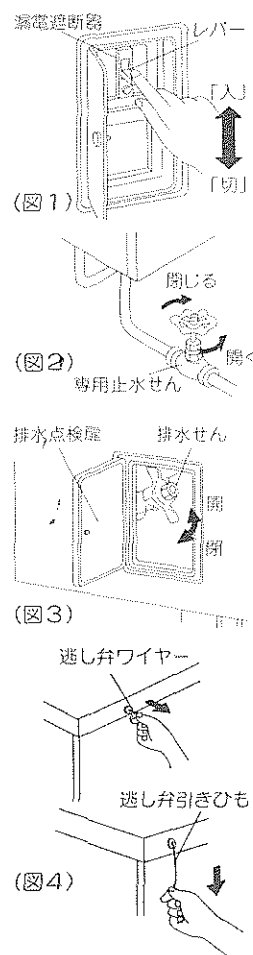
⚠ 注意

タンクの熱湯排水は直接しない

やけどをすることがあります。
水で薄めてから流してください。

使用しているうちに水アカや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2~3回はつぎの手順で排水口から水あかなどを出してください。
タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

- (1) 漏電遮断器のレバーを「切」にします。(図1)
- (2) 専用止水せんを閉じます。(図2)
- (3) 排水点検扉をあけ、排水せんを開きます。(図3)
- (4) 逃し弁ワイヤー(逃し弁引きひも)を約2分間引きます。(図4)
- (5) よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じ排水点検扉を閉めます。(図3)
※お湯が出てくる場合がありますので、ご注意ください。
- (6) 排水が終わりましたら専用止水せんを開きます。(図2)
- (7) 排水口に水が出てくるまで逃し弁ワイヤー(逃し弁引きひも)を引きます。(見えないときは音で確認してください)(図4)
- (8) 漏電遮断器のレバーを「入」にします。(図1)

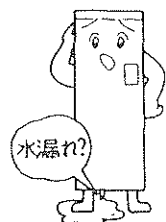


4 断水、近くで水道工事が行われるとき

- 工事が行われる前に専用止水せんを閉じてください。濁った水が減圧弁のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 解除されたら専用止水せんおよび給水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから電気温水器を使用してください。

5 過圧防止弁について

- 過圧防止弁排水口より水(または湯)が漏れている場合は、配管システムまたは電気温水器に異常があります。漏電遮断器のレバーをさげて電源を「切」にし、専用止水せんを開けてお使いになるのをやめてください。お買いあげの販売店に連絡をして修理を受けてください。



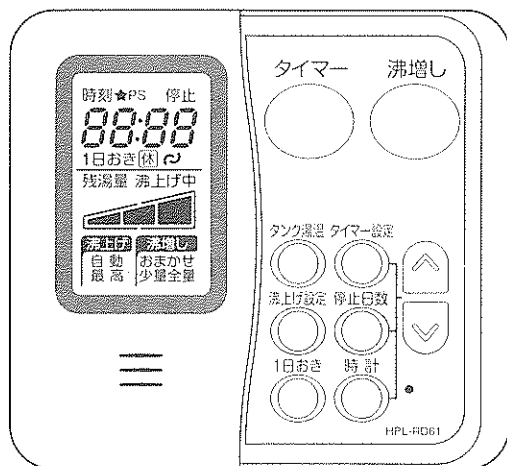
定期点検のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換(有料)をいたします。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

リモコンについて

- この温水器は、本体操作で使用するリモコンレス形ですが、別売部品のリモコンを組み合わせて使用することによりキッチン等から遠隔操作することができます。
- リモコンを接続すると本体電源ボックスカバー内部の操作部の表示は消え、リモコンが表示します。

HPL-RD61



〈機能〉

- ・乾電池不要、100V不要
- ・時間帯別電灯契約／深夜電力契約兼用
- ・湯温調節 2段階（最高、自動）
- ・残湯表示 3～5段階（機種により異なります）
- ・沸上げ停止日数設定
- ・時計（深夜電力契約の場合は表示しません）
- ・タンク湯温表示
- ・沸増し設定（時間帯別電灯契約の場合）
- ・1日おき沸上げ設定
- ・タイマー
- ・幅137mm×奥行25mm×高さ126mm

※リモコン使用のとき、リモコンケーブルが必要となります。

異常の表示と処理の方法

この電気温水器には異常時の自己診断機能があります。

時計表示部につぎの表示がでているときは、何等かの異常がありますので点検および処置を行ってください。

点検・修理の依頼はお買い上げの販売店にご相談ください。

表示(時計表示部)	原 因	処 置 方 法
E: 1	水温・湯温検知センサー回路の故障	湯の沸き上げをしない場合がありますので点検・修理を依頼してください。（修理が终れば表示は自動的に消えます）
E: 2	残湯量180 L 検知センサー回路の故障	湯の沸き上げをしますが、点検・修理を依頼してください。（修理が终れば表示は自動的に消えます）
E: 3	残湯量120〔100〕 L 検知センサー回路の故障	
E: 4	残湯量60〔50〕 L 検知センサー回路の故障	
E: 6	夜間時間帯に2時間以上の停電があった	電力会社に停電があったのか確認してください。 次の夜間時間帯に2時間以上の停電がなければ自動的に消えます
E: 10	残湯20 L 検知センサー回路の故障 (2ヒーターのみ)	上部ヒーターでの沸き上げをしません。点検・修理を依頼してください。 (修理が终れば自動的に表示は消えます)

※深夜電力契約で使用の場合、異常の表示は夜間時間帯のみです。

〔 〕内は、HPL-TF159MA(-T)・HPL-TF209MA(-T)の場合。

点検、
お手入れのしかた

リモコンについて

異常の表示と
処理の方法と

このようなときには

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	直 し か た
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ●専用止水せんは開いていますか。 ●断水ではありませんか。 ●減圧弁のストレーナーがつまっていますか。 ●配管部分が凍結していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●閉じていたら、開いてください。 ●水道局へ問い合わせてください。 (断水が終わるまで待ってください) ●14ページによりお手入れをしてください。 ●お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●配線用遮断器が「切」になっていませんか。 ●漏電遮断器のレバーが「切 (OFF)」になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「切 (OFF)」になっているときは、「入 (ON)」にしてください。 ※2度、3度と「切 (OFF)」になる場合は故障のおそれがありますので、お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	●沸き上げ湯温調節の位置は適当ですか。	●上のランクへ切替えてください。 (自動 → 最高)
	●夜間時間帯にお湯をたくさん使用しませんでしたか。	●翌日までお待ちください。 ●時間帯別電灯契約でご使用のときは、沸増しができます。
	●いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
	●タンクへの給水温度が15℃未満ではありませんか。	※湯温調節 最高 のとき、残湯量がなく、水温が15℃未満のときは90℃まで沸き上がりません。
	<ul style="list-style-type: none"> ●排水管から昼間お湯が流れていませんか。 〔沸増し中は昼間でも排水管から膨張水が排水されます。〕 	<ul style="list-style-type: none"> ●14ページの「逃し弁の動作確認を」により、逃し弁の動作確認をしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。
よごれたお湯が出る。	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。	●水がきれいになったのを確認してから電気温水器をお使いください。 15ページの「断水・近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	●15ページの「タンク内の掃除を」によりタンク内の掃除をしてください。
減圧弁から水が漏れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●負圧作動弁から漏れるときは、吐水口をマッチ棒などで数回つついても止まりませんか。 ●水抜きせんから漏れるときは、ツマミを右にねじ込んでも止まりませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水漏れが止まらないときは、お買いあげの販売店にご相談ください。 (少量の水漏れのときは、ビニールホース (内径6mm) で排水口へ導いてください。)

仕 様

1 ヒータータイプ

形 名 項 目	HPL-TF159MA(-T)	HPL-TF209MA(-T)	HPL-TF372RMA	HPL-TF462RMA
	屋内・軒下兼用形		屋内・防雨兼用形	
	マイコン節電タイプ			
適用料金制度	時間帯別電灯/深夜電力(通電制御)切替式			
タンク容量	150 L	200 L	370 L	460 L
定 格	単相 200V 2.1kW	単相 200V 2.4kW	単相 200V 4.4kW	単相 200V 5.4kW
沸上がり湯温	自動: 約75℃～90℃ 最高: 約90℃			
質量(満水時)	約43(193)kg {(-T)は約44(194)kg}	約47(247)kg {(-T)は約48(248)kg}	約63(433)kg	約70(530)kg
外 形	幅	450	550	660
寸 法	奥 行	500		660
(mm)	高 さ	1800 {(-T)は1900}		2140
安 全 装 置	自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電遮断器・過圧防止弁			
配管内蔵部品	減圧弁・逃し弁・排水せん			
配 管 口 径	給水・給湯: R3/4(PT3/4オネジ)・排水: Rc3/4			
用 途	セントラル給湯 1～2人家族		セントラル給湯 3～5人家族	セントラル給湯 4～6人家族
備 考			非常用取水コック付	非常用取水コック付

2 ヒータータイプ

形 名 項 目	HPL-2TF372RMA	HPL-2TF462RMA
	屋内・防雨兼用形	
	マイコン節電タイプ	
適用料金制度	時間帯別電灯/深夜電力(通電制御)切替式	
タンク容量	370L	460L
定 格	単相 200V 4.4kW	単相 200V 5.4kW
沸上がり湯温	自動: 約75℃~90℃ 最高: 約90℃	
質量(満水時)	約65(435)kg	約72(532)kg
外形 幅	660	
寸法 奥行	660	
(mm) 高さ	1800	2140
安 全 装 置	自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電遮断器・過圧防止弁	
配管内蔵部品	減圧弁・逃し弁・排水せん	
配 管 口 径	給水・給湯: R3/4(PT3/4オネジ)・排水: Rc3/4	
用 途	セントラル給湯 4~5人家族	セントラル給湯 5~6人家族
備 考	非常用取水コック付	非常用取水コック付

このようなどきには

仕 様

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- この東芝電気温水器には、「保証書」を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝電気温水器の保証期間は、お買いあげいただいた日から2年です。(ただし、タンク内部のヒーターは3年、タンクは5年です。)
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 弊社は、電気温水器の補修用性能部品の製造打ち切り後、10年保有しています。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買いあげの販売店、東芝家電ご相談センターまたは東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
- ご転居あるいは贈答品などで保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理を依頼されるときは (出張修理)

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切 (OFF)」にし、専用止水せんを閉じてからお買いあげの販売店にご相談ください。
修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

- 修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

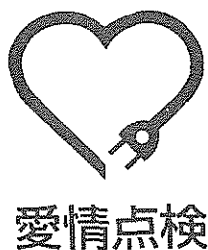
- 修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	電気温水器	
形 名	H P L - □ □ □ □ □ □ □ □	
お買いあげ日	年 月 日	
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください	
お 名 前	電話番号	訪問希望日
便 利 メ モ	お買いあげ店名	
	電 話 番 号	
お買いあげ店名を記入されておくと便利です		

修理料金のしくみ

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。



長年ご使用の電気温水器の点検をぜひ!

このような
症状は
ありませんか。

- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなくなる。
- 逃し弁の逃し管から屋間、常にお湯が流れている。
- 過圧防止弁排水口より水 (または湯) が漏れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電遮断器が働く。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買いあげの販売店に点検修理 (有料) をご相談ください。

東芝機器株式会社

電化給湯システム営業部

〒110-0015 東京都台東区東上野5-24-8

(住友不動産上野ビル6号館11F)

TEL (03)5806-9043

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	

お客様へ……おはえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

SC (M) 機舎TBCO (H)